



图书馆内收藏有与日语和日本相关的书籍约14000册和影像资料约1500份!

开馆时间

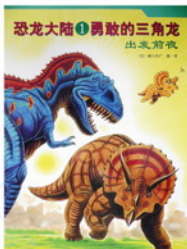
星期一至周五 11:00~18:00 一般会员证和教师会员证 30元
星期六 13:00~18:00 学生会会员证 10元



书名:《古利和古拉的神秘客人》
出版社:南海出版公司
出版日期:2009年8月
作者:(文)中川李枝子(图)山脇百合子
译者:李颖

一个寒冷的冬日,田鼠兄弟古利和古拉在树林里打雪仗。忽然,他们发现雪地上有一些很大很大的脚印。他们顺着脚印找过去,发现脚印的终点竟然是他们自己的家。巨大的靴子、红色外套、白色的围巾……从房子里飘来阵阵的烤蛋糕的香味,来拜访这两只小田鼠的客人到底是谁……?

古利和古拉系列自1963年出版以来,已经成了全世界的畅销书。现在,已经被翻译成中文、英语、法语等九国语言。请大家一起来分享这两只喜欢“制作美食,享受美食”的可爱的小田鼠给我们带来的故事吧。在作者中川李枝子的其他作品中,《粉红色的长颈鹿》也是非常值得推荐的哦。



书名:《恐龙大陆1 勇敢的三角龙》
出版社:南海出版公司
出版日期:2008年11月
作者:黑川光广

遥远的太古时代,三角龙的首领大角正在考虑带领同伴向温暖的新天地迁移。一天,大角的儿子,调皮鬼小角玩耍时在黑暗的森林里迷了路。在那片森林里,有一只恐怖凶残的霸王龙正在……小角的命运将会如何,三角龙群能否顺利迁移呢?

本书是恐龙大陆系列七部作品中的第一部,讲述了小三角龙小角的冒险故事。在本系列中,除了小角的故事之外,对于恐龙生活的环境也有详细的插图和说明,是孩子和大人可以一起阅读的作品。



书名:《积木小屋》
出版社:白泉社
出版时间:2008年10月
作者:(文) 伊藤润二(图) 加藤久仁生

每个家庭都是用积木搭建起来的,即:都是和最重要的家人一起度过的无法替代的每一天的积累。
在一个海水不断上涨的奇妙的小镇里,住着一位老爷爷,每当房子快要被海水淹没时,老爷爷就会在原来的房子上再造出一栋新房子。就像搭积木一样一层一层地搭了起来。一天,老爷爷像往常一样正在建造新房子的时候,为了去捡掉落在海里的工具,老爷爷潜入了海中。随后映入老爷爷眼帘的是,一层层重叠在一起的曾经住过的房子。在那里有着过去和老奶奶以及孩子们一起生活过的无数回忆。

てふてふ

留华网西宁交流项目

“神道与日本文化”国际学术研讨会召开



艺术秋之祭—奏响秋日的缤纷奏鸣曲

在今年艺术的秋天里,日本文化中心举办了一系列展览、文化体验等活动,内容包罗万象,再次让中国的朋友们体验多元文化日本的个中乐趣

上海特别巡回展

9.3-11.7

威武的奥特曼、可爱的 Hello Kitty,众多中国观众家喻户晓的日本动漫形象为庆祝上海世博的举办齐聚上海,隆重拉开《走进经典动漫角色王国—日本》展的帷幕,展览期间共吸引了上万名观众。

(展期:2010年9月3日-10月10日)

紧随其后的《构想“未来城市”——走进上世纪60年代的日本城市规划》,介绍了包括当今活跃在世界舞台的顶级日本建筑设计师作品,和从上世纪60年代至今具代表性的先锋城市规划方案。(展期:2010年10月14日-11月7日)

2010年度巡回展“隐秘在自然中的日本”

2010.9.16-2011.3.27

作为本基金一年一度的巡回展,日本著名建筑师、设计师、摄影艺术家矢萩喜从自己的黑白摄影作品展“隐秘在自然中的日本”展在北京、合肥、沈阳、重庆、深圳正式开展。在作者游历日本各地的旅途中不经意间记录下来纯美影像背后,通过一系列对比与冲突,对在现代语境下“自然”的涵义进行再思考。

折纸工作坊—玫瑰教室

9.29

响应第一期工作坊参与观众的热烈呼声,我们再次荣幸地邀请到三菫老师,举办了第二期工作坊,教授玫瑰花的折法。一张平面的四方纸片,经过大家的巧手加工,居然蜕变为如此富于层次感的玫瑰花,大家不得不再次感慨到折纸的玄妙和其中暗含的数学原理的高深。

日本畅销小说作家片山恭一演讲会

10.11-14

以《在世界中心呼唤爱》一举成为日本最畅销小说单行本作者的片山恭一首次来华,

留华网西宁交流项目

9月17日至21日,本中心留华网项目带领13位来自中国不同城市的日本留学生,来到西宁,与青海民族大学的小伙伴们举办了一次特别的交流活动。

13位留学生第一次来到西宁,一起交流的中国学生们也都是第一次接触与自己同龄的留学生。但是在位于青海民族大学内西宁中日交流之窗老师们的精心安排下,中日学生一起聊天、谈学习、讲世界,日本学生到中国学生家中体验 Home Stay,对陌生地方的不安,对高原反应的担忧,一下子就消失得无影无踪。短短几天时间的相处,却在参加活动的每一位学生心中深深播下了友谊的种子。

通过这次的交流活动,与 Home Stay 的中国学生实现美好的交流,结成兄弟般的真挚友谊,更加强烈地激励我珍视每一个人与人的关系,为中日关系发展做出自己的贡献。——留华网北京市代表 村松文也(北京大学日本留学生)

通过这次的 Home Stay,与日本留学生交流,让我对日本文化更感兴趣了。我也从她身上获得了继续努力学习日语的勇气。——青海民族大学 07 级日语班 岳勇

在 Home Stay 的体验中,无论是美妙的景色,还是热情的人们,都使我深受感动。虽然只是短短的一天时间,但是 Home Stay 家庭人们的热情,让我感到无限温暖,



在北京和青岛与广大书迷和日本文学爱好者们见面,在演讲和座谈中,片山老师带领大家重新领悟了《在世界中心呼唤爱》中真正揭示的有关生与死的人生感悟。著名翻译家林华老师联系当今社会风貌与流行词汇,现场做了精彩点评。

日本纪录片展映“从小川绅介到当代创作”

10.15-24

日本文化中心携手尤伦斯当代艺术中心特别呈现日本纪录片展映,从小川绅介的经典影片《三里塚之夏》和《日本古原敷村》,到《横浜玛丽》、《Taimagura 奶奶》、《日本,关于爱与恨的故事》、《NARA: 跟着奈良美智去旅行》、《奶奶的老房子》五部2000年后的作品,试图呈现日本纪录片创作的新近面貌,活动特别邀请纪录片导演冯艳(小川绅介著《收割电影》一书的翻译),与大家交流小川绅介和日本独立纪录片创作。

岩崎弘与日本图画书展

10.29-11.20

日本的图画书(绘本)历史悠久,在世界上也享有很高声誉。日本绘本史上的代表人物岩崎弘倾注其热爱心与对绘画的热情,为日本及世界绘本历史上留下了诸多充满温暖与感动的绘本图画作品。本次展览上除有机会了解绘本历史,还能够领略到部分岩崎弘珍贵的原画。同时,安里野和弘美术馆的竹道祐子副馆长和松方路子女士还为我们带来了丰富多彩的互动体验项目。

元旦即将到来,在新的一年里你将有怎样的新期望呢?我们希望并且决心在新的一年里为广大喜爱日本文化的朋友们带来更多更精彩的文化活动,感谢大家一年以来的支持,2011年再见!



希望与他们继续交流下去。

——辽宁大学日本留学生 山内明日香

这次的 Home Stay,并不单纯是玩,自己也得到了成长。——青海民族大学 07 级藏族日语班 夏百太

通过参加这次的交流,使我更加关注中日交流,而且发现“为了中日间的友谊,原来自己也有可以做的事情”,提起“国际交流”,总觉得是一个十分艰巨的问题,但是为了维护中日间友好关系,我会更加努力思考自己力所能及的事,做出自己的贡献。——留华网成都市代表 奥原祥太郎(四川大学日本留学生)

我今后希望到日本留学,对于我来说,这次的“中日交流活动”成为提高自身能力的一堂宝贵的课。了解到一些如何与日本朋友交流接触的常识,而且自己希望成为架通中日友好关系桥梁的愿望也更加强烈了。这次的经历已成为我永生难忘的美好回忆。——青海民族大学 08 级藏族日语班 西热次成



“神道与日本文化”国际学术研讨会召开

中国社会科学院日本研究所 崔世广

神道是日本民族固有宗教,是日本文化的核心,其不仅与日本历史文化的发展息息相关,就是对当代日本人的社会生活也产生着深刻影响。为了从不同角度、不同视点进一步对神道进行研究,2010年11月13日,中国社会科学院日本研究所在北京举办了“神道与日本文化”国际学术研讨会。

会议得到国际交流基金会北京日本文化中心的部分资助,京都大学名誉教授、国际神道学会会长藤田裕、浙江大学教授、中华日本哲学学会会长王守华等中日双方50余名专家学者出席了会议。与会学者围绕神道与日本文化,展开了深入和富有成效的研讨。

藤田裕对神道与日本人的生命观进行了阐述。他指出,日本的神道文化归根结底是以生命世界的生生发展为理想的。在日本神道中,有灵性的生命不仅限于人类,万事万物都有灵性。人们把具有强大威力的灵性视为神灵来祭祀,通过祭祀把这些神以祈祷神与人融为一体共存共荣。这种生命观对于克服将万物视为神造物的世界观,实现物质与心灵同样丰富的“生命文明”具有重要意义。

王守华论述了神道的自然观及其现代意义。他认为,在神道那里,神与人的关系不是隔绝的,而是相通的,在神、人和自然三者之间,存在着以“生”为媒介的亲缘关系。所以,神道也把自然与自然观作为神的行为或神本身加以崇拜。最能体现神、人和自然和谐一体化关系的是神道的“镇守之森”、“神体山”和众多的“自然环境神”。这种神、人和自然和谐一体化的认识,在客观上有利于保护自然环境。

范景武(内蒙古工业大学教授)分析了神道的祭祀观。他指出,神道礼仪是人神对话或交流的基本规则,是实现人神合力、神人一体的重要途径。清静观是日本神道祭祀文化的主要原理,言灵信仰是神道祭祀文化的主要方式。神道祭祀文化是日本人国民性的成分和养分,是日本人宗教心的出处和去处。神道祭祀不仅具有独特的政治功能,而且是日本人与生俱来的感恩心理与报恩行为的复合体,其指导着日本人的现实生活,洗礼了日本人的情感世界。

饭岛一(日本独协大学教授)从历史复合文化论的视角分析了神道的文化结构。他认为,日本长期以来没有受到外来海外的政治势力的征服,因此文化结构不是单纯的层累性,而是具有历史复合层累性。处于层累文化的最低层,因具有强烈的回归性而得以顽强地维持的东西就

是文化的基层,他认为支撑日本神道的文化基层,是日本人意识深处清晰地与此方与彼方划分开来的领域观念。这种领域意识不是现实的境界线,而是一种观念,它潜移默化地指导着日本人的日常生活。

牛建科(山东大学教授)则分析了神道的功能。他指出,神道既是氏族的象征,又是地域共同体的象征,其作为文化象征符号具有重要功能。神道在外来宗教文化的冲击下能保持自身的不变性,就标志着日本文化自身的主体性永不丧失。神道无论是日本历史上还是在现实社会中,都发挥着“象征”功能。通过这种象征功能的发挥,神道确立了其在日本历史和现实中的地位,同时也塑造了日本文化的形态,规定着日本文化的特性。



“职业女性工作—生活平衡”中日国际学术研讨会有感

中华女子学院 蒋惠敏 敬勋



2010年10月的北京秋高气爽,筹备已久的“职业女性工作—生活平衡”中日国际学术研讨会在北京会议中心如期举行。此次研讨会由中华女子学院和中国妇女研究会妇女教育专业委员会共同主办,来自日本以及国内的学者约70余人参加了本次的研讨会。

作为会议主办方,回顾这一年来来的筹备工作,我们深有感触。从会议的前期调研、申请会议的劳碌与辛劳,到成功申报的内心喜悦,从与各方专家的广泛了解与切理到与专家的深度沟通,从参会议文的征集到论文作者们的成果分享,从会议邀请信的寄出,到会议手册的定稿,既有中日女子学院领导和中华女子学院女性学系的大力支持,也有中

本国际交流基金会工作人员的无私帮助,更有我们研讨会筹备组工作人员日以继日的付出。时光如水,当会议终于顺利拉开帷幕,中日学者济济一堂,接连不断的精彩报告让受众者分享,当我们品味报告台上那如鲜花般默默吐露的智慧芳香,我们的内心怎么能不激动呢。

作为会议主办方,也许最值得高兴的就是让来参加研讨会的学者们来,满载而归。当参会的专家学者不轻易地表示非常感谢会议主办方能够在如此短促的时间内聚集这么多信息性强和学术意味浓厚的报告,象参加一场盛宴一般,我们以为这已经是最美的赞扬。与会学者们认为,会议的召开对两国社会营造一个更有利于妇女发展的社会环境和家庭环境具有非常重要的学术理论意义和社会行动价值。同样,对于研讨会上,每一次学术成果交流的互动,大家机智犀利的问答一样让我们感动,在北京那个金秋华彩的两天里,我们也为自己感动,因为我们的辛劳化为了中日专家学者们的赞赏,同样我们也为学者专家们的倾情投入而感动,因为那些执着的学术精神和冥思,为研讨会笼罩上了圣洁的光芒。

本次研讨会为中日双方的学者专家搭建了一个学术、文化交流的平台。研讨会上,全国妇联的书记处书记崔维英专门为会议做了精彩的致词,中华女子学院院长张李丽敬

为大会做了主旨报告,与会者分享了她多年来的研究成果。同时我们还聆听了来自日方的日本大使馆公使山崎和之内、内閣府大臣官房审议官柿崎雄和日本女子大学教授大泽真知子以及日本国际交流基金会北京日本文化中心副主任高桥耕一郎的致词与发言,从中了解了日本的经验和方法,感到日本的经验可资借鉴之处。同时,来自中国社会

学、法学、管理学、文学、政治学等领域的20名专家也先后在会

上发言,交流了研究成果。智慧的火花在这里碰撞,相互的友谊在此构建,在学术的殿堂令我们受益匪浅,也深感未来两国就双方共同关心的问题加强合作研究具有广阔的广阔空间,相信今后中日两国学者的合作将为平衡职业女性的工作与生活、为促进妇女的发展与进步做出新的更大的贡献。而,我们也愿意继续为此付出我们的努力。

两天的研讨会虽然很快结束了,但是记忆犹新,中日两国是一衣带水的友好邻邦,学术的交流将为中国两国的学者实现互相学习、相互借鉴、增进了解和加深友谊的目的。随着中日经济文化交流的日益紧密,两国学界的交流合作也必将日益频繁,今天,能够为中日两国人民间学术交流作出一份贡献,我们感到由衷欣慰,祝愿中日友谊青山绿水长流!最后感谢日本国际交流基金会为本次研讨会提供的经费支持。

中国人日本語学習者が間違いやすい日本語について 「つもりだ」

国際交流基金北京日本文化センター
日本語教育アドバイザー
王焜燊

今回は話し手の意思・意図を表す「つもりだ」について考えてみたいと思います。

「つもりだ」は日常会話でよく使われ、日本語初級教材でも早い段階で出てくるものです。よく中国語の「打算」と訳されますが、学習者の誤用も目立ちます。

例：老師、您寒假打算回日本嗎？

*先生、冬休みは日本へ帰るつもりですか。

例の中国語の表現はまったく問題ありませんが、日本語の例文はどうでしょう。日本語として、このような表現はありません。「先生、冬休み日本へ帰るつもりですか?」では、先生は、「えっ?帰ってはいませんか?」と答えたくてしまいます。つまり、「つもりですか?」には、相手を買める語気があるように聞こえる言い方で、目上の人には失礼になります。

中国語の表現として目上の人に失礼になるような問題はありますが、日本語の表現として目上の人に失礼になります。このような違いが中国人の「つもりだ」の誤用の元になっているでしょう。

では、「つもりだ」について中国の日本語教科書はどのように教えているのでしょうか。まず、中国の大学で広く使われている『SW 教材』を調べました。

「つもり」は形式体言、接在动词连体形后表示打算做某件事，其否定形式是「つもりはありません」或「否定+つもりです」。用「つもりです」结构性的句子一般用于第一人称，其问句形式可用于第二人称。

以上、教科書の説明文をそのまま引用しました。はっきりと「つもりだ」の疑問文なら第二人称に使えると書いてありますね。しかし、疑問文として第二人称に使う例文は載せてありません。第二人称という範囲は非常に広いので、限定もしていません。次に、『DW 教材』を調べました。『SW 教材』と似たような説明でした。これでは、教師が補足説明をしない限り、学生が冒頭のような誤用をおかしても仕方がないと思えました。最後に、『BD 教材』を調べたら、次のような説明がありました。

这个句子用于表示说话人(第一人称)的打算。相当于汉语的“(我)打算”，…(例文省略)。

由于受到人称的限制，下面这种表示第二人称的句子是不用的，因为它会给人一种不礼貌、不礼貌的感觉。

- あなたは何をするつもりですか。
- どこへ行くつもりですか。

確かに、「つもりだ」の第二人称の使い方につ

いて『SW 教材』『DW 教材』と一味違う記述をしています。

では、日本の辞書にはどのように記述されているのでしょうか。手元の『明鏡国語辞典』を調べると、次のように書いてありました。

◀「～だ」の形で「話し手の持続的な意思・意向」などを表す。～(よ)うと思っている。

- 借りた物は算をそろえて返すつもりだ。
- 成功させるためには経費は惜しまないつもりです。

語法
語法には出るとりかいかい?

- 遊んでばかりでどうするつもりだろう。
 - 彼はが非でも留学するつもりらしい。
- など、話し手以外の意思・意向についていうときは下に疑問や推量などを伴う。

疑問や推量の形を使えば、第二人称の意思・意向について使えたと記述してありますね。しかし、その例文をよく見ると、目上の人を使うような例文ではないのは確かです。所詮、それも日本人向けの辞典なので、ノンネイティブの日本語者にとっては、やはり使いにくいところがあると実感しました。

なぜ、冒頭のような例文が誤用になるのか、日本で出版されている『初級文法と教えるのポイント』という本を見ると、はっきりと次のような記述があります。

質問の形の「～つもりですか」は、上の人には失礼になります。敬意を表したいときは「～つもりですか」は使わず、次の例のように敬語表現で尋ねたほうが適切です。

- ?あした九州へ行くつもりですか。
 - あした九州へいらっしゃいますか。
- ここで初めて「つもりだ」の疑問文は目上の人を使うと失礼になるという答えがありました。

では、実際に教えるときにどんなことに注意したらよいでしょうか

①「つもりだ」は話し手が前から思っていた意思・意図を表します。中国語の「打算」の使い方が似ています。

• 今度の夏休み日本へ旅行に行くつもりです。

次のようにその場でやろうとしたことには使えません。

• *では、今から会議をするつもりです。

→○では、今から会議をします。

②否定の形は「～ないつもりだ」「つもりはない」

の二つありますが、使い方は違います。

- A: 明日の夜の新年会に出ますか。
 - B: いいえ、出ないつもりです。
- 動詞のない形をとり、否定の意向を表します。

• A: 部長に謝ったらどうですか。
- B: いいえ、謝るつもりはありません。

「～つもりはありません」のほうが相手の勧めを断るときなどより強い否定に使われる傾向があります。

③第三者の意思・意図を表すこともできますが、第三者の意思・意図を明確に分かっているとき以下は次のように表現にしたほうが良いでしょう。

- 王先生は明日学校を休むつもりようです。
- 王先生は明日学校を休むつもりらしい。
- 王先生は明日学校を休むつもりだと言っています。

④相手の意思を尋ねる時にも使えます。ただし、目上の人や、気持ちを尋ねるのは直接的すぎて失礼になります。

• ?先生は冬休みどこへ行かれるおつもりですか?
→○先生は冬休みどこへいらっしゃるご予定ですか?

参考・引用文献

- 市川保子(2006)『初級日本語文法と教えるのポイント』スリーエーネットワーク
- 松岡弘監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 白川博之(2001)『中級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 『明鏡国語辞典』大修館書店

JF日本語教育スタンダード? 私の授業に役に立つの?

北京日本文化センター日本語教育専門家 佐藤 修
日本語教師のみなさん、こんにちは!

今から数回にわたって、国際交流基金が開発した「JF 日本語教育スタンダード(以下、JF スタンダード)」について解説いたします。今回は、よくあるご質問のうち、「JF スタンダードって、私の授業に役に立つの?」にお答えします。

日本語能力の判断基準

JF スタンダードとは、国際交流基金が目指す日本語教育の理念や目的を、「枠組み」として具体的に提示するものです。要するに、日本語能力の判断基準として使えるものです。例えば、作文の授業で「学習者の作文の力がどう伸びているかわからない」とか「評価のし方で悩んでいる」という方はいらっしやいませんか? JF スタンダードの「みんなのCan-do サイト」を利用すると次のような評価シートを作ることができます。

作文評価シート(説明文・意見文・ショートレポート)

点	内容	自己評価	コメント	講師評価	コメント
4.	伝えたい主張したい点に必要な情報について、具体的な説明がある程度詳しく書いてあり、読み手にとってたいへん理解しやすい。				
3.	伝えたい主張したい点に大体的な説明がある。十分な説明が不足しているが、細い点については十分な説明がある。				
2.	伝えたい主張したい点と論理と理解することはできるが、説明が不足している、全体的に何を伝えたいのかわかりにくい。				
1.	伝えたい主張したい点に必要な情報が正確でないか、トピックと関係がないため、何を伝えたいのかわかりにくい。				
点	構成	自己評価	コメント	講師評価	コメント
4.	文を始めていくつも書いている。段落を使って段落ごとの内容をまとめているため、構成がわかりやすい、たいへん読みやすい。				
3.	文と文の間の関係が部分的に分かっているが、大きな流れをつかむことのできる。				
2.	短い文や句を使った。基本的な接続詞で文と文をつなげたり、伝えたいことのポイントだけを並べて書いている。				
1.	文や単語をばらばらに書いている。文章としての構成がない。				
点	読み手への配慮	自己評価	コメント	講師評価	コメント
4.	読み手にとって必要な情報や説明を詳しく書いている。また、読み手の興味を引くような工夫をしている。				
3.	読み手にとって必要な情報や説明を書いている。そのため、伝えたいメッセージはほぼ正確に伝えている。				
2.	読み手にとって必要な情報や説明が不足しているため、伝えたいメッセージが伝わらない部分がある。				
1.	情報を断片的に書いているため、何を伝えようとしているかわかりにくい。				
点	語彙・文法など	自己評価	コメント	講師評価	コメント
4.	トピックに関連した語句・表現・構文を正確に使っている。また、文体や語調などに留意書きとしての適切がある。				
3.	部分的に語彙が不適切だったり、文法的な誤りがあるが、文の理解に影響を与えるほどではない。				
2.	不適切な語句・表現や文法的な誤りが多い。文を理解しにくいことがある。				
1.	暗記した語句や文をばらばらに書いている。必要な語句・表現が使えず、文法的な誤りが多い。文を理解することが難しい。				

『JF 日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック』p.33 より

学習者と教師にとっての利点

こうした評価シートを使うことで、学習者は自分の日本語能力をコースの前後やコース途中で把握することができます。目標の明確化や学習への動機づけになります。教師は、目標や評価をはっきり意識できるようになるので、今行われている授業を改善するのに使えるのではないのでしょうか。また、世界中のどこで日本語を教えていても、今自分が教えているレベルがどこにあるかを知ることができ、説明することもできるようになります。

JF スタンダードの概要や公開資料等、詳細は以下 IP をご覧ください。
国際交流基金日本語国際センター IP「JF 日本語教育スタンダード」
<http://www.jfstandard.jp>

- 日本国际交流基金会主办
- 日本国际交流基金会资助
- 其它

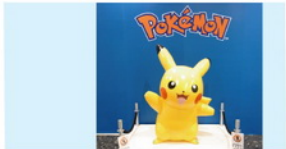
9月

SEPTEMBER

09.2~09.5 / 中日青年作家会议2010



09.3~10.10 / 艺术秋之祭—上海特别巡回展“走进经典动漫角色王国日本”



09.8~09.10 / “中日比较文化研究”国际研讨会



09.10~09.13 / “汉字文化溯源—从文字到书籍”国际研讨会



09.11~09.12 / “东亚模式与地域发展：世界金融危机下的再思考”国际研讨会



09.16~10.07 / 艺术秋之祭—2010年度巡回展“隐秘在自然中的日本”北京



09.17~09.21 / 留华网西宁交流项目



09.24~09.27 / 中国日语教学研究会年会 & 第6回中日韩文化教育研究フォーラム



09.29 / 艺术秋之祭—折纸工作坊——玫瑰教室



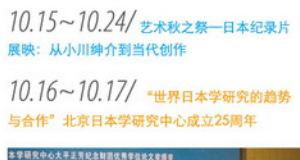
10月

OCTOBER

10.11~10.14 / 艺术秋之祭—日本畅销说作 家片山恭一演讲会



10.14~11.07 / 艺术秋之祭—上海特别巡回展“构想‘未来城市’——走进上世纪60年代的日本城市规划”



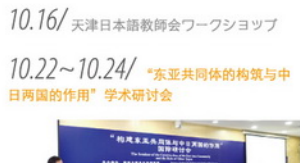
10.15~10.24 / 艺术秋之祭—日本纪录片展映：从小川绅介到当代创作



10.16~10.17 / “世界日本学研究的趋势与合作”北京日本学研究中心成立25周年



10.16 / 第四回日本文化祭 日本語スピーチコンテスト (天津)

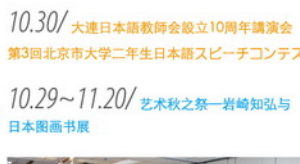


10.16 / 天津日本語教師会ワークショップ

10.22~10.24 / “东亚共同体的构筑与中日两国的作用”学术研讨会



10.27~10.28 / 职业女性工作生活平衡中日国际研讨会



10.30 / 大连日本語教師会設立10周年講演会 第3回北京市大学二・三年生日本語スピーチコンテスト



10.29~11.20 / 艺术秋之祭—岩崎知弘与日本图画书展

11月

NOVEMBER

11.05~11.06 / “世界的日本学研究论坛 in 北京”



北京国际日本学学术研讨会2010
Beijing International Symposium on Japan Studies 2010

11.05~11.06 / 北京大学现代日本研究中心成立20周年纪念大会



11.10~11.26 / 2010年度巡回展“隐秘在自然中的日本”合肥



11.10~12.01 / 北京日本文化センター日本語体験講座



11.13 / “神道与日本文化”国际研讨会



11.19~11.21 / “中日两国在构筑东亚共同体中的竞争与合作”国际研讨会



11.21 / 長春ふれあいの場「日本語教師ワークショップ」



11.27~11.28 / 首届福建省大学日语教师研修会(福州)



12月

DECEMBER

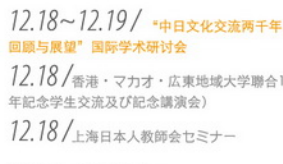
12.2~12.25 / 2010年度巡回展“隐秘在自然中的日本”沈阳



12.10~12.13 / 第4届中等教育日语教师访日进修班日语教学研讨会(北京)



12.11~2011.1.08 / “手工艺的容貌—传统与技艺”展



12.18~12.19 / “中日文化交流两千年：回顾与展望”国际学术研讨会

12.18 / 香港·マカオ・広東地域大学聯合1周年記念学生交流及び記念講演会)

12.18 / 上海日本人教師会セミナー

12.24~12.26 / 内蒙古通達市日本語教師研修会 & 通達市第一回日本語スピーチコンテスト

12.22~12.23 / 折紙工作坊——圣诞特辑

12.26 / 毛丹青老师演讲会

活动预告

Activities notice

01.20~02.05 / 2010年度巡回展“隐秘在自然中的日本”重庆

01.22 / J-Pop in China 2011

02.26~03.06 / “舞踏——伟大的灵魂”北京舞蹈公演

03.05~03.27 / 2010年度巡回展“隐秘在自然中的日本”深圳

03.07~03.26 / 山田洋次电影展映

03.17~03.20 / 2011年春季全国高中日语教师研修会

